

昭島市 御中

令和6年度
「ナッジ理論を活用した
省エネ教育プログラム」
報告書（抜粋）

2025 年 1 月
東京ガス株式会社

※本報告概要は「令和6年度ナッジ理論を活用した省エネ教育プログラム」報告書から
一部を抜粋したものとなる。

※本報告概要（抜粋）の無断転載・複製・複写を禁じます。

目次

1. はじめに.....	2
2. 実施概要.....	3
3. 実践校における授業実施.....	4
4. 結果.....	5
4.1 CO ₂ 排出量削減実績	5
4.2 児童の声にみる取組状況	5
5. まとめ.....	6
6. 謝辞.....	6

1. はじめに

気候変動問題が年々深刻化してきており、抜本的かつ持続的な温室効果ガス削減が世界的に求められている。日本政府は、2030 年度に 46%（2013 年度比）の温室効果ガスの排出削減、さらには 2050 年までに実質ゼロ（カーボンニュートラル）という目標を掲げている。

この目標の達成に向けては、各産業別に CO₂ 削減率目標が設定されており、とりわけ家庭部門においては 2030 年度までに約 66%減と大幅な削減が必要である。

各自治体においては地域の CO₂ 削減に向けて、市民一人ひとりの環境に対する意識醸成や省エネへの行動変容を促す施策の推進が求められている。目標実現のためには、「省エネ行動」を社会規範として定着していくことが肝要であり、特に学校教育等での子ども世代への取り組みが重要と考える。

そこで、本プログラムでは実行力のある CO₂ 削減効果を伴う省エネ行動変容を促すため、東京ガスが住環境計画研究所と環境省実証事業（※1）の一環として開発した「サステナッジ教育（日本で初めて学校での省エネ教育が家庭の CO₂ 排出量に与える影響を定量的に実証したプログラム）」を実施することとした。なお、本プログラムは、環境省が主催する「令和 6 年度気候変動アクション環境大臣表彰」（※2）の普及・促進部門（緩和分野）で、大賞を受賞している。

※1 「低炭素型の行動変容を促す情報発信（ナッジ）による家庭等の自発的対策推進事業」
（平成 29 年度から令和 2 年度）

※2 環境省が「気候変動の緩和（温室効果ガスの排出抑制対策）」及び「気候変動への適応（気候変動の影響による被害の回避・軽減対策）」に関し顕著な功績のあった個人又は団体（自治体、企業、NPO/NGO、学校等）の功績をたたえる表彰のこと

2. 実施概要

以下小学校で、クラス毎に全6回の授業を実施した。

実施校、実施人数ならびに実施スケジュールを以下に示す。

学校	年組	実施教科	ステップ 4 実験	ステップ6 ゲーム	児童数
武蔵野小学校 (2024年9月 ～10月)	5年1組	総合的な 学習の時間	節電	エコな買い物 &調理カード	64人
	5年2組				

3. 実践校における授業実施

(1) 昭島市立武蔵野小学校

所在地：東京都昭島市武蔵野2-3-1

対象教科：総合的な学習の時間

実践学年：小学5年生

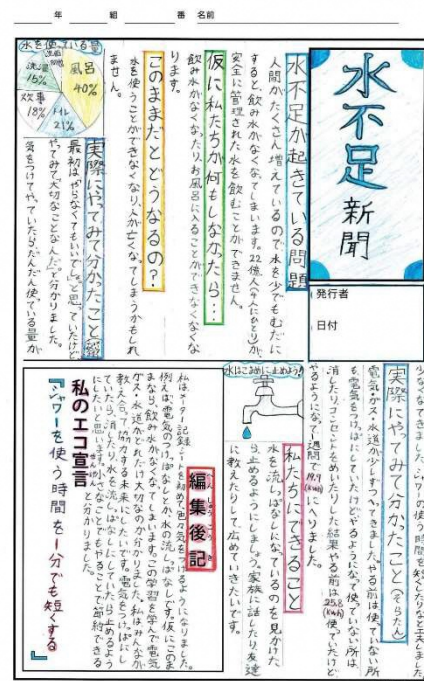
■授業の様子および児童が作成した新聞



東京ガスから派遣した講師による授業の様子



新聞投票の様子



4. 結果

4.1 CO₂ 排出量削減実績

市内小学校 1 校、計 64 名の児童が省エネ教育プログラムを受講したことにより、11.0 t の CO₂ 排出量削減効果が得られた。市と小学校に対し、CO₂ 排出量削減証書を発行した。

4.2 児童の声にみる取組状況

省エネに基づく自由記述(抜粋)
やってみた感想は、地球温暖化についてもっと知ることができました。しかも、調べたことによって 私たち一人一人ができるかぎり「省エネ」をしていくことが大切だ と思いました。これからもやっていこうと思いました。 私のエコ宣言『水はこまめに止める』
今まで省エネ行動をして ほんの少しの行動でCO₂がそんなに減る ということを知ったのでこれからも続けようと思いました。私のエコ宣言『テレビを見ない時は消す。』
僕は、みんなが節約し自分だけやらないは、だめだと思う。 1人が頑張っても長続きしない。だからみんなでやる。それだけで楽しくいられる。 私のエコ宣言『むだなく平等に』
やってみて私は、 意外と電気やガス、水道をむだに使っているんだな と思いました。そして、このまま何もしないと地球がとても温かくなってしまっって人々が暮らすのも大変になってしまう。だから私も節約をします！ 私のエコ宣言『一日の中でルーレットで決めた節約をする！』
私は今までこんなに省エネのことを考えたことはありませんでした。なぜかという と「省エネはもうマスターしてる！」と思いついていた からです。しかし、メーターを測ってみると全くできていないと分かりました。なので、これからはもっと深く勉強し、 私みたいに思いついてしまっている人々に声かけもしたいです！ 私のエコ宣言『使っていない電源プラグを抜く！』
私は省エネをして初めはあまり慣れませんでした、やっていると慣れてきて少し楽しくなりました。 電気使用量が減って嬉しかった 時もあります。これからは自分にできる省エネをしたいと思います。 私のエコ宣言『使っていない場所の電気を消す！！』
私はこの新聞を作ってみて、今のみんなは 「今の自然は大丈夫だあー」ってみんな思ってると思うけど「今の地球はピンチなんだよ」 って教えてあげたい。私のエコ宣言『マイバックを持ち歩く！』
私は、自然豊かな未来になってほしいです。この学習をやってぼくは、今世界が危機だと知って驚きました。ただ、 周りに任せないで自分でやってみることが大切だ と思いました。エコバッグ、分別、節約、リサイクルなどをやってみましょう。私のエコ宣言『自分で出来ることはやってみよう』
やってみたらCO ₂ はすごくいっぱい減らせることがわかったので、この学習で CO₂は1kgでも減らせば世界に広がる ことがわかりました。仮にこのままだと地球がすごく熱くなってしまうからCO ₂ をできるだけ減らそうと思いました。私のエコ宣言『シャワーの使いすぎに注意する』
やってみた感想は、地球温暖化がすごい進んでいることがわかったので、私は省エネ行動をしていきたいと思いました。私は 40年後50年後は、夏はあまり暑くなく、9月10月ごろは涼しい未来 がいいです。 私のエコ宣言『シャワーを5分以内にします。』

<p>やってみた感想（シャワー）金額も減らせて自然も守れる一石二鳥を試してよかったと思いました。</p> <p>私のエコ宣言『使っていない所の照明はけす！シャワーは4分から3分にする。』</p>
<p>僕はトイレの大小レバーを適当にやって、大体流すとき大を使っている気がします。大と小をうまく使い分けるためには適当にやらないで、次から正式にちゃんと使い分けてやっていきたいと思いました。</p> <p>私のエコ宣言『トイレの大小レバーをうまく使い分ける』</p>
<p>CO₂を減らすために私ができることは、ドライヤーのようにたくさんの電気を使う道具は、短い時間にするだけでもすごく減らせることがわかった。だからこのことをこれから続ける。またみんなに伝えていきたい。</p> <p>私のエコ宣言『つかってないへやのでんきをけす』</p>
<p>ホッキョクグマが減っている理由やホッキョクグマの問題が深刻ということがわかり、地球のためになることを心がけようと思いました。私のエコ宣言『テレビを見ていないときは消す』</p>
<p>私達一人一人が意識して行動することが未来につながっているのだなと思いました。</p> <p>私のエコ宣言『食べ残しを減らします』</p>
<p>地球温暖化は知ってはいたけれど、調べたらとても危険だと知って、なお協力しないと思った。</p> <p>私のエコ宣言『エアコンは家にいる時だけ』</p>
<p>今回、省エネというテーマで自分の暮らしを見直したところ、エネルギーを節約できる課題点が色々あることに気付きました。今後は今回気付いた点を元に身近な省エネ活動に取り組んでいきたいと思いました。</p> <p>私のエコ宣言『照明をこまめに消す。』</p>

5. まとめ

省エネ教育プログラムを導入したことで、受講した児童は勿論のこと、市内の教員、学校、ひいては児童生徒の保護者に至るまで、省エネ意識の向上と行動変容が見られ、市が目指す昭島市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）の2030年カーボンハーフ実現に向けた一歩となった。

6. 謝辞

本プログラムの実施に関し、ご協力いただきました昭島市環境部、実践校の先生及び児童の皆様、昭島ガス株式会社に深甚の謝意を表します。また、皆様にご協力もあり、本プログラムが環境省主催「令和6年度気候変動アクション環境大臣表彰」の普及・促進部門（緩和分野）で大賞を受賞させていただきましたこと、併せて、御礼申し上げます。

令和6年度
「ナッジ理論を活用した省エネ教育プログラム」
報告書
2025年1月

監修執筆

東京ガス株式会社	都市生活研究所	所長	三神	彩子
		統括研究員	宮本	登